

事務連絡
平成28年9月13日

各都道府県・指定都市教育委員会
業務改善・マネジメント担当課長 殿

文部科学省初等中等教育局
参事官（学校運営支援担当）付

平成28年度「学校マネジメントフォーラム」の開催について（依頼）

これからの子供たちには、将来の予測が困難な時代を生き抜いていくために必要な力が求められており、対話的・主体的で深い学びの視点に立った授業改善とともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校指導体制を強化していく必要があります。

一方で、グローバル化や情報化の進展、生産年齢人口の減少などの社会や経済の急速な変化、社会のつながりや支え合いの希薄化等に伴い、学校の抱える課題が複雑化・多様化している状況があります。また、貧困問題への対応や保護者等からの要望への対応など、学校に求められる役割も拡大し、学校や教員だけでは解決できない課題が増大しています。教員の勤務実態に関する国内外の調査からも、教員の長時間勤務の実態が明らかになっているところです。

学校教育の質の向上を図っていくためには、教員が一人一人の児童生徒と向き合う時間を確保するとともに、自らの指導力を十分に磨き、発揮できる環境を整備していく必要があります。これからの学校指導体制にふさわしい教職員の在り方を踏まえ、業務改善のための有効な手立てを講じていく必要があることから、別紙要項により、学校現場における業務の適正化をテーマとした学校マネジメントフォーラムを開催します。

各教育委員会におかれましては、管内の学校等に広くお知らせいただくとともに、貴下職員及び教職員等の参加について御配慮いただくようお願いいたします。

また、都道府県教育委員会におかれては域内の市区町村教育委員会（指定都市教育委員会を除く。）にもその旨お知らせ願います。

なお、参加申込みについては、参加希望者が文部科学省ホームページにて手続きをすることとしているため、自治体で取りまとめをする必要はありません。

（担当）

初等中等教育局参事官（学校運営支援担当）付

運営支援推進係：阿久津，榎本

電話：03-5253-4111（内線3704）

E-mail：hyo-ka@mext.go.jp

平成28年度 学校マネジメントフォーラム実施要項

【 目 的 】

学校教育の質の向上を図っていくためには、教員が一人一人の児童生徒と向き合う時間を確保するとともに、自らの指導力を十分に磨き、発揮できる環境を整備していく必要があり、これからの学校指導体制にふさわしい教職員の在り方を踏まえ、業務改善のための有効な手立てを講じていく必要があることから、学校現場における業務の適正化をテーマとした本フォーラムにおいて、教育委員会による学校現場の業務改善にかかる先進的な取組事例の発表を通して、議論を深めるものとする。

1. 第1回学校マネジメントフォーラム

- | | | | |
|-------|---|---|--|
| (1) 主 | 催 | 文部科学省 | |
| (2) 共 | 催 | 全国公立小中学校事務職員研究会 | |
| (3) 日 | 時 | 平成28年10月28日(金) 13:00～17:30 (受付 12:30～13:00) | |
| (4) 会 | 場 | 文部科学省 東館3階 講堂 | |
| | | 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 (東京メトロ銀座線虎ノ門駅 徒歩3分) | |
| (5) 内 | 容 | 開会挨拶 13:00～13:20 | |
| | | 行政説明 13:30～14:00 | |
| | | 講 演 14:05～15:05 | 「学校における業務改善の要諦～なんのため、だれが、
どうやって進めるか(仮題)」
学校マネジメントコンサルタント 妹尾 昌俊 氏 |
| | | 休 憩 15:05～15:15 | |
| | | 事例発表 15:15～17:30 | ①岩手県遠野市教育委員会
「学校事務職員が共同実施をツールとしてどんな学校経営参画ができるか(仮題)」
②京都府京田辺市教育委員会
「校務支援システムの開発、充実による教職員間の情報の共有や業務の効率化を図る取組(仮題)」
③横浜市教育委員会
「教職員の負担軽減に向けた取組～教職員が子どもとしっかり向き合う時間の確保のために～(仮題)」 |
| | | 閉 会 17:30 | |
| (6) 参 | 加 | 者 | 教育委員会関係者、校長、学校事務職員及びその他教職員、ほか |
| (7) パ | ネ | ル | 展示 講堂前 展示スペースを使って、学校事務の共同実施等の取組事例の紹介 |

2. 第2回学校マネジメントフォーラム

- | | | | |
|-------|---|---|--|
| (1) 主 | 催 | 文部科学省 | |
| (2) 共 | 催 | 全国公立小中学校事務職員研究会 | |
| (3) 日 | 時 | 平成28年11月25日(金) 13:00～17:30 (受付 12:30～13:00) | |
| (4) 会 | 場 | 文部科学省 東館3階 講堂 | |

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2 (東京メトロ銀座線虎ノ門駅 徒歩3分)

- (5) 内 容
- 開会挨拶 13:00～13:20
- 行政説明 13:30～14:00
- 講演 14:05～15:05 「次世代の学校づくりを具現化する学校マネジメントと業務改善の在り方(仮題)」
鳴門教育大学教授 久我 直人 氏
- 休憩 15:05～15:15
- 事例発表 15:15～17:30 ①新潟県教育委員会
「学校の業務改善推進と共同実施の取組(仮題)」
②北海道教育委員会
「北海道共同利用型校務支援システムについて～システム導入による教職員の校務の軽減と標準化～(仮題)」
③長野県塩尻市教育委員会
「学校給食公会計の導入(仮題)」
- 閉 会 17:30
- (6) 参 加 者 教育委員会関係者, 校長, 学校事務職員及びその他教職員, ほか
- (7) パネル展示 講堂前 展示スペースを使って, 学校事務の共同実施等の取組事例の紹介

3. 申込み方法

以下の文部科学省ホームページの申込み画面から個人でお申し込み願います。
各自治体にて取りまとめる必要はありません。

(URL) http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/uneishien/detail/1373744.htm

※「文部科学省ホームページ」⇒「教育」⇒「小学校・中学校・高等学校」⇒「学校運営支援について」
⇒「平成28年度調査研究事業」⇒「平成28年度学校マネジメントフォーラム開催について」

なお, 参加申込開始時期は, 以下の通りです。
いずれも, 会場の定員(500名)になり次第, 申し込みを締め切ります。

第1回:平成28年9月16日(金)9時30分より
第2回:平成28年10月17日(月)9時30分より